

第 79 回国立病院総合医学会 ベスト口演賞受賞のお知らせ

国立病院機構宇都宮病院 整形外科

2025 年 11 月 7-8 日に金沢で開催された第 79 回国立病院総合医学会（会長：NHO 金沢医療センター院長 阪上 学）の一般演題で当院整形外科部長の茶藷昌明先生がベスト口演賞を受賞されました。

演題名：圧潰型の骨粗鬆症性椎体骨折に対する BKP+後方固定術の手術成績 ―椎体後壁損傷を伴う脊柱管内リモデリングの推移―

本学会は公的病院としては済生会、日赤、JA、JCHO グループ病院を凌ぐ全国で最多の 140 病院を有する国立病院機構の病院から医師のみならず看護師、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士等 6,000 名を超える方々が集い、特別講演、招待講演、教育講演、特別企画シンポジウム、シンポジウム、パネルディスカッション、特別企画、オーガナイズドセッション等の充実したプログラム、約 430 演題の一般口演、1600 演題あまりのポスター演題が採択され、日頃の臨床研究の成果を発表し、活発な討議や意見交換を行う学会です。発表を通じて当院の対外的なアピール、認知向上も十分に行うことができました。



当科における今回の受賞は脊椎外科関連の演題では 2018 年の秋山昇士先生（日本脊椎インストゥルメンテーション学会）、2021 年の茶藷昌明先生（日本脊椎インストゥルメンテーション学会）、2022 年の金井知彬先生（日本脊椎前方側方進入手術学会）、2025 年の澤田尚武先生（東日本整形災害外科学会）に続いて 5 回目の受賞となります。

今後とも整形外科・脊椎外科では臨床のみならず学術研究でも地域の患者さんのために貢献し、その成果を科学および社会の発展に寄与するよう努力していきますので皆様、どうぞよろしくお願いします。